

西岡見聞録

12月の西岡公園見どころは!?

12月の園内は木々の葉が落ち、寒々しく感じられるかもしれません。実は葉が落ちたことで森の中の動植物は観察しやすくなります。普段ならなかなか探すのが難しい野鳥の姿もよく見られます。特にキツツキの仲間はさえずり以外にも木を突く音、ドラミングを頼りにアカゲラやコゲラ、運が良ければ国の天然記念物に指定されているクマゲラに会えるかもしれません。動物たちの足跡や食痕からは「どのような暮らしをしているのだろう?」と想像力を刺激されることでしょう。散策の後は管理事務所で暖かいコーヒーを飲みながら、ゆっくり図鑑や書籍を眺めてくつろいで頂ければと思います。冬ならではの時間を西岡公園で楽しみませんか?

【西岡公園で12月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2017.12.3 札幌支部HPより)

- ・コゲラ
- ・ハシフトガラ
- ・ヒヨドリ
- ・アカゲラ
- ・ヤマガラ
- ・ゴジュウカラ
- ・ハシフトガラス
- ・ヒガラ
- ・ミソサザイ
- ・キクイタダキ
- ・シジュウカラ
- ・マヒワ



【ヤマガラ】

胸から腹が赤みのある茶色で
あまり人を恐れないせいか
園内でも間近によく見られるカラ類。
木の実を樹皮の隙間や土の中に
隠して貯食する習性があります。



【双眼鏡の貸出し】

双眼鏡の貸出しを行っています。
園内の使用で3時間まで
レンタル代 200円。

冬の散策になると便利♪
一度試してみてはいかがでしょう?

【足跡観察】

水源池の結氷し、雪が積もると
様々な動物たちの足跡が観察できます。

真っ白な水源地の上に
点々とついた足跡は
いったい誰のものなのか!



駐車場から管理事務所へ向かう階段横に
オニグルミの木があります。

【オニグルミ】

羊や猿の顔のように
見えるのは葉痕(ようこん)
と呼ばれる葉っぱが
枝から落ちた痕跡で、
様々な形が見られます。



【冬芽観察】

冬芽(ふゆめ・とうが)は越冬する芽のこと。
葉が変形した芽鱗(がりん)に包まれているものや
毛に覆われているものがあります。

【ホオノキ】

キャップ状の芽鱗に包まれた冬芽は
大きく見つけやすいです。
散策路では、頭上を見上げるより
幼木が目の前にあるので
じっくり観察できます。

